



2023年3月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白江 浩
 編集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL 022(243)1300
<http://www.arinomamasya.or.jp>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
 2023年3月10日発行 SSKO通巻11313号

感染対策の議論

「新型コロナウイルス」「5類感染症」移行へ

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、5月8日に今の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行することが決まりました。拡大感染委員会にて早速議論を行い、5月までには当法人の感染症対策の方針を決める方向で意見を出し合いました。

コロナについては未だに変異株が発生しており、現段階で治療薬が確立していないこと、無症状で2日前から感染する恐れがあるため季節性インフルエンザと全く同じものとは認識できず、また基礎疾患のある方は重症化することは分かっているため、急に感染対策を緩めることはできないというのが全員の一致した意見でした。「マスクが自由になるので症状がなくてマスクをしていない人がもしコロナだったら、これまで以上に移るかもしれない。」入居者の方からも心配な声が聞かれており、まだ情報が少ない中で正直不安なことの方が多くあります。

基礎疾患をお持ちの方が暮らしている当法人ではクラスターが発生することなく運営できたことは、入居者や利用者、そのご家族、そしてスタッフの感染対策への高い意識と深い理解があったからだと思います。今後も生命を守ることが最優先であることは変わりありません。



スタンダードプリコーションは感染対策の基本として取り組んでいます。(主に手洗い・手指消毒・マスク着用・検温・必要時の个人防护具着用など)

ありのまま舎としてむやみな規制はこれまで通り行うことなく、根拠を持った感染対策をしつかり議論していきたいと思っています。併せて感染症発生時における業務継続計画(BCP)についても議論を重ね、様式がほぼまとまり、各事業所で作成していきます。

薫る風

トルコ・シリアで発生した大地震は世界中の多くの人々に大きな衝撃を与えた。どれだけの人々の生命が失われたのか、今も定かではないが、既に歴史的にも例のない大災害となった。生命に関しても例が少ない問題ではなく、ひとりひとりの問題だ。ただ、悲しみや恐怖は亡くなられた方の何百倍もの人々に及ぶことを考えると、とても悲しい、恐怖が世界中に広がった。災害時に「強者」はいないが、こどもや障害や病気のある方、高齢の方など、ひとりでは逃げられない方は「災害弱者」(災害時避難行動要配慮者)と呼ばれる。そこに留まらざるを得ない中で、建物が崩壊し、その下敷きとなった方々の思いを想像すると胸が苦しくなる。怖かったと思う。ありのまま舎で暮らす方、集う方のほとんどが「災害弱者」だ。同様の大地震のみならず、頻回に起きる水害等も含め、その生命をどうやって守るのか。古来からの課題でありながら、模索は続いて、明確な答えはない。災害発生時は自助↓互助↓共助として公助の順に機能する。一方、発生前は情報提供や避難場所、避難のための互助・共助を機能させるための公助の役割は極めて大きい。国は個別避難計画の策定を努力義務化した。むろん計画が出来ても、生命の保証はない。ただししっかりした事前の備えがあれば日常的な互助、共助は機能させられる。しかし、今は計画づくりも進んでいない。のど元過ぎれば熱さ忘れるが如く、東日本大震災も風化しつつある。三月十日には風化させまいと様々な取り組みがなされた。しかし経験しない人が増えれば、風化は避けられない。東日本大震災では「災害弱者」と言われる人々の犠牲(死亡率)は、そうでない人々の二倍以上に上った。今回の地震を契機にせめて計画づくりが進むことを願う。(白江浩)

令和5年度

ありのまま生活福祉講座
ありのまま自立大賞

昨年、3年ぶりに開催となった「ありのまま生活福祉講座」と「ありのまま自立大賞」。オンラインを活用して遠方の皆様にご参加いただき、また自立大賞ではオンライン会議で選考を進めることができました。
令和5年の日程が決まり、現在準備を進めています。福祉講座は講師が決定しました。

今年も対面とオンラインを検討しており、座長の彬子女王殿下、選考委員長の瑠子女王殿下にご相談しながら進めております。今後も会報「自立」等を通じてお知らせしていきたいと思っております。



【ありのまま生活福祉講座】

令和5年6月10日(土)

13時半〜16時

場所 仙台市福祉プラザ

講師

永田和宏氏 (日本歌人)

吉田 翔氏 (耳鼻咽喉科医)

師 難聴・自立大賞受賞者

【ありのまま自立大賞】

令和5年7月22日(土)

14時半〜15時半

場所 仙台市福祉プラザ

自立センター活動・コロナ禍での活動の変化と感謝

法人本部には理念の発信活動を行う「活動センター」があり、その中に「自立センター」活動があります。主にバザー会を企画し、収益と地域交流を深めることを目的とし年間を通して開催を継続しています。また「ありのままショップ」が自立ホームに隣接し、商品をご家庭や企業の皆様からご提供いただき販売し、地域交流を深めることを行っています。

3年前のコロナ禍から活動センターの様子も大きく変わりました。お祭りや文化祭への参加施設内で行っていた出張販売は現在も中止となっています。定期的に行っているバザー会場はまだ再開できていないところもあります。スーパーでは最少人数での買い物の呼びかけが行われており、全体的にお客様の人数が減り、売り上げも減少しました。

その中で、ありのままショップでは毎月ショップセールを行っています。緊急事態宣言などが出た時以外は、対策を講じながら開催してきました。主に、ショップの会員の方やご近所の方を中心に開催のお知らせを行い、また会報「自立」にバザーの開催日を掲載し、ご覧になって来て下さる方もおられます。

さらに町内会のご協力を頂き、自立ホームが所属している町内会にセールのちらしや会報を回覧させていただいています。

バザー会やセールの再開する際、人が集まることで不安や心配もありましたが、ありのまま舎のことや障害を持った方のことを知って頂く機会となり、コロナ禍であっても活動を続けることの意義や理解して頂くための場をなくさないために規模を縮小してでも止めることなく開催しています。またバザー会の売り上げは活動を継続するため

の大切な収入源です。

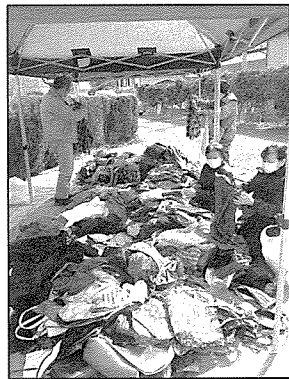
毎月セールやバザー会を本当に楽しみにしてくださる方々がたくさんおられ、開催にあたってはマスクの着用や、問診票の記入、検温なども実施させていただいています。皆さんとても協力的に感染対策を実行して下さい、これまでクラスターや体調不良の方はなく経過することができ、本当に有難く思っております。

早くコロナが落ち着き、入居者とお客様が楽しく会話し交流しながら開催できることを楽しみにしております。

(川尻誠)



問診票の記入にご協力いただいています。



外ではテントを張って古着を販売！毎回とても好評です。



ありのままショップ内

在宅介護を応援します!!

ケーアイ調剤薬局

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1丁目34-16
Tel・Fax 022-743-3161

【ホームケア仙台ありののまま舎りビングセンター】

3月に新しい入居者の方を迎えることになりました。同じ法人内の施設で暮らしていましたが体調が回復され、仙台に戻ってパソコンを習い、仕事を再開したいと希望を持っておられました。自立ホームの見学と体験入居を行い、ご本人、ご家族から入居の希望をいただきました。体験入居の最終日、ご本人と面談をさせていただきました。「私は長く意識が戻らなかつた時があり、家族にとっても心配と迷惑をかけました。だからもう家族には心配をかけたくないと思っています。いつも誰かがいてくれるグループホームで自分なりに一歩前進した生活を送れたらと思います。もし自分にいつもと違う症状があったら声をかけて下さい。よろしくお願いたします。」というお話がありとても印象に残っています。パソコンを学べる事業所も見つかり、新しい生活が始まります。大きな病から回復され、これからの生活を前向きに捉え進もうとされておられました。これから生活環境が大きく変わりますが、ご本人の体調や生活面のサポートを行い、またホーム全体に新しい風が入ることを感じています。

(佐藤 藤)

【サポートケア仙台ありののまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

2月17日(金)に太白区自立支援協議会・障害者相談支援連絡会に参加させて頂きました。今年度の活動のまとめ・来年度の活動内容について意見を出し合いました。

今年度は、「相談支援事業所が相談し合える関係性を構築すること」「太白区の相談支援の実態把握」「相談支援の質の向上・研修の場として活用できること」を活動目的として行い、他機関との連携や記録の取り方、相談員のメンタルヘルス等について意見交換されました。来年度の活動については、今年度同様に情報共有する機会とすること、事例検討を行う、支援するアイデアを得られるようにすること等様々な意見が出ました。中でも「まず地域課題の抽出に繋がるものが大事ではないか」という意見が心に残りました。会に参加し、意見を出し合い、検討を重ねることで、地域の障害のある方々等の住みよい街づくりを考える場です。活発な意見交換の中で障害者福祉に携わるものとして、あるべき姿勢を再認識させて頂きました。今後日常の業務から地域の課題に気づき、会に参加し意見すること、障害のある方々が安心して過ごせるような地域作りにも少しでも貢献できたらと思いました。

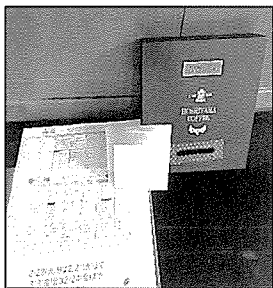
(相澤 誠一)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありののまま舎(事務局)】

平日の事務局は、電話やインターネットの対応に追われ、事務所の扉は開けたままいつも人が出入りしています。そんな中、入居者の皆さんの意識が変わる出来事がありました。個人で購入された代金引換の荷物は責任をもって個々に対応する事になり、荷物到着をまだかまだかと玄関先で待つ様子が、日常的な光景に変わってきました。これからもお互いに協力しながら、過ごしていきたいと思えます。

それからもう一つ、職員にとって嬉しい出来事がありました。職員の昼食は開所した当初から入居者と同じものを食べています。毎週火・金曜日は三つのメニューから一つを選ぶ選択食です。昼食時間が業務によって異なる為、食べたいものが食べられなかったという何とも悲しい



昼食のメニューの事前オーダーできる仕組みができました!

体験をした職員は少なくありません。そこで考案されたのが事前オーダー制でした。このお陰で、午後も安心して仕事に打ち込む事ができます。

(栗原千賀子)



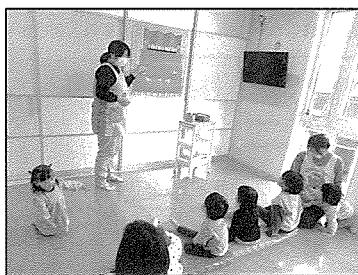
【チャイルドケア仙台ありののまま舎保育園】

暖かく感じる日もあり、少しずつ春に近づいているなど感じる季節ですね。

3月3日のひな祭りは、ご家族で楽しくお祝いできましたでしょうか。保育園では、2月中旬から「うれしいひなまつり」を歌い、子どもたちは毎日とても嬉しそうに「ほんぼり歌う」「今日は三番、四番まで歌う」と、お祝いを楽しみにして過ごしました。

当日は、ゲームを通して由来のお話をしました。給食もかわいらしく、みんな楽しく食べていました。

行事に参加することに慣れ、みんなでお祝いすることや伝統行事にふれることは楽しいと親しみを持つことができるようになっていきました。



ひなまつりの歌を歌い、ひなまつりにちなんだかわいらしい給食を楽しく食べました!



なったのだなと感じました。年明けからドタバタとあつとつという間に3月に入り、様々なことがあった一年でしたが、やはり楽しくかわいい思い出が沢山です。ご家族やご支援してくださる皆様のご協力、ご支援にとても感謝しております。四月からも健やかに楽しく過ごしていきたいと思います。

(春日麻里)



名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】
今年度は、相談支援で関わらせて

いただいた方へのインタビューをテーマに毎月お送りしてきました。このインタビューには、皆さん快くお引き受けいただき、とてもありがたかったです。支援を行っている中では、サービスの利用状況や普段の生活の中の困り事などがなかなか確認していきませんが、改めて「楽しみにしていること」や「頑張っていること」、「目標など」をお伺いすることで、その方の新しい一面や実はこんな楽しみを持つていらっしやるのだと知ることができ、いい機会になりましたし、心の距離が縮まったと感じました。

日常生活を行う上で、楽しみや目標を持つことはとても大切なことだと思えますし、それが生活に張り合いを持たせるのだと思えます。様々な生活のしづらさを持ちながらも、しっかりと生きていく目的を持って行くことは私自身も見習っていきたく感じているインタビューでした。来年度もできるだけ多くの方にインタビューをさせていただき、「ご覧いただく方にも元気の出る」報告ができるとうれしく考えております。

(佐々木晃)

巨理エリア

【サポートケア巨理ありのまま舎
舎長幹相談支援センター】
前回に続き乳幼児・学齢期の

支援について、メンタライジングという概念を手掛かりに人と人との相互作用の在り方を考えてみたいと思います。
メンタライジングの定義には、『自己と他者の行動を、その後にある心理状態という面から理解し、解釈すること(およびその能力)』と定義されています(フオナギー・ベイトマン)。言わば、子どもの症状の背景にある心の状態を母親が理解することと心の傷に言葉を添えながらあやしたり、母乳を与えたりすること(マザリング)と言えます。

文化と時代の流れが変化しても心を育む在り方は変わることはありませんが、新型コロナをはじめ、働く環境や社会経済等、社会の在り方は大きく変化し、日常生活や子育てに影響します。安全で健康な生活環境のなかで、お母さんやお子さんの子育てができるようサポートさせて頂ければと思いますので宜しくお願い申し上げます。

(菊地理)

【サポートケア県南ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】
県南ありのまま舎は巨理町・

岩沼市の委託相談支援事業所となっております。今回は岩沼市委託相談支援事業所で参加している岩沼市障害児者地域自立支援協議会で取り組んでいることを紹介したいと思います。

岩沼市障害児者地域自立支援協議会には全体会、生活支援部会、子ども支援部会、各部会の運営会で構成されています。

生活支援部会の活動のひとつとして2月1日「高齢・障害部門の連携を考える勉強会」を実施しました。東北福祉大学竹之内章代准教授をお招きし、講義「切れ目ない相談支援体制を地域でつくる」を受講し、「障害福祉サービスから介護保険への移行で困ったこと、どうすればスムーズに行えるのか」をテーマにグループワークを行ない地域包括支援センター、居宅介護支援事業所から意見を聞くことができました。

高齢化が進んでいる中で高齢部門との連携は必須になっていきます。更にネットワークを強固なものにできるように精進していきたいと思えます。

(清野麻紀)

【難病ホスピスケア
巨理ありのまま舎】
【事務局】

巨理ありのまま舎の入居者の男性が夢を持って施設を出ることになった。

「パソコンでデザインの勉強をして、それを仕事としてみたい。」という夢を彼から聞いた。淋しさと同時に、夢を見つけ、その夢に向かっていく入居者を見送ることができるといふのは施設で働く者としては幸せな事である。

施設の役割にはケアだけではなく、地域社会へ戻ることが出来るようになっていただくことも一つの役割である。また、家族との関係性を繋げていくことや季節や日常を楽しみながら毎日を生き生きと過ごしていただくことも役割であると思う。

今は一人一人のケアに必死である私たち職員も、もともとと色々なことに目を向け、努力していくことで福祉施設の役割を果たすことができると思う。福祉は難しく、奥が深く、そして楽しい。

巨理ありのまま舎では一緒に支えてくれる職員、パート、ボランティアの方を募集しております。興味がある方はぜひ、ご連絡をお待ちしております。

(大宮加奈江)

当クリニックは、難病ホスピス太白ありのまま舎・自立ホーム仙台ありのまま舎の入居者の健康をサポートします。

茂庭台
ないとうクリニック
院長 二井谷 友公

(診療科目) ●内科 ●小児科

電話 (022) 281-5490

診療時間

- ◆月～木曜日
午前 9:00～12:00
午後 3:00～5:00
- ◆金曜日
午前 9:00～12:00
午後 3:00～4:45
- ◆土曜日
午前 9:00～12:00
- ◆休診日 日曜日・祝日



※ 診療時間についてはお問い合わせ下さい

ありのまま舎後援会 (敬称略)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ
1月分の売上の一部を寄付
頂きました。

こくみん共済coop
宮城推進本部 987円

ありのまま舎 (自立ホーム・太
白ありのまま舎・サポートケ
ア 泉南・亘理ありのまま舎)
10,768円

自販機設置支援



各事業所に設置し、入居者、スタッフ、地域の皆さんにご利用いただいています。会社や個人の自宅前にも設置のご支援を頂いています。

ご支援頂きありがとうございます
ございました (敬称略)

【書き損じはがき等】

23 1/26 ~ 2/24

(鈴木一彦)

【バザー提供】

23 1/26 ~ 2/22

皆様の ご支援に心より感謝申
し上げます。

【バザー開催日のご案内】

《2023年4月》

4日(火) ヨークベニマル山田鈎取店
(太白区)

6日(木) ヨークマルシェ大和町店
(若林区)

11日(火) ヨークベニマル南吉成店
(青葉区)

13日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちほ
(宮城野区)

18日(火) ヤマザワ茂庭店
(太白区)

22日(土) ありのままショップセル
(仙台ありのまま舎)

25日(火) 篠原(向日)ライフ
サポートセンター・太白区
(宮城野区)

27日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちほ
(宮城野区)

食のお店です。当舎への食事
のご奉仕など様々な面で大き
なお支えを頂いております。
花の膳宮城野秋通り店
(若林区) 31,918円

「二客一心」のおもてなしの精
神でお客様をお迎えされてい
る姿勢に、大変学ばされる思
いです。

ご協力ありがとうございます
ございました (敬称略)

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付
けを、仙台西高等学校JRC有
志・東北学院榴ヶ岡高等学校有
志・個人の皆様にお手伝いいた
だきました。

◆会報の折り込みは、日本基督
教団東北教区婦人会の仙台北三
番丁教会と、仙台宮城野教会の
皆様に感染対策をとりながらお
手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロ
ナ感染症予防に気を付けながら
お手伝いいただいています。シ
ョップセルの会場でも、開始
準備や片付け等のお手伝いいた
だきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループ
の皆様による「気ままに書く
会」(書道) ◆宮城県車いすダ
ンス協会様による「車いすダン
ス」 ◆仙台シルバーネットの皆
様による「読書会」など施設内
で行う活動は引き続きお休みな
せていただいております。

毎月楽しみにして下さっている
皆様に会報をお届けできる
のは、ご協力くださっているた
くさんの方のお陰と思っております。
温かく迎えて下さり、皆さんの
優しさに触れ元気を頂いていま
す。
(遠藤寿子)

レンタカー・カーリースのご用命は



本 社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100
法人営業部 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

本 部	022-224-0100	前 部	022-237-0100	仙 台	0223-22-0100	新 幹 線 くりこほ高駅駅前店	0228-21-2100
交 通 船 前	022-221-0100	高 砂	022-254-0100	柴 田	0224-57-0100	石 巻 駅 前	0225-21-7007
仙 台 駅 西 口	022-213-0100	豊 野 2	022-246-0100	新 幹 線 白 石 駅 王 駅	0224-22-0252	石 巻 港	0225-22-0100
仙 台 駅 東 口	022-293-0100	泉 中 央 駅 前	022-372-0100	新 幹 線 西 川 駅 前	0229-23-0100	気 仙 港	0226-22-0100

新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)
その他ウェルキャブもラインナップしております。

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)